

夢を実現するために

須賀川市立大森小学校 六年 太田 璃莉花

「あれはオリオン座だよ。」

もう日の暮れてしまった空を見て、お父さんが教えてくれた。無数に広がる宝石のような星たち。その中でひとときわ輝く三連星。初めて星座について知ったとき、心がわくわくした。その星一つ一つに名前がついていることを知ったとき、いつか私も自分の星を見つけたらと思った。

私の将来の夢は天文学者だ。天文学者とは、天体の観測と計測を行い、新しい現象や法則を発見する仕事だ。この仕事に就くための道を改めて調べてみた。

天文学者になるためには、「博士号」というものを取得しなければならぬ。

博士号を取るのには簡単ではない。高校卒業後は大学の理学部に入り、天文学を学んで卒業する。その後は、大学院だ。博士号を取得するためには論文を書いて博士論文審査会に合格しなければならぬ。

論文が認められて卒業できれば、いよいよ

研究結果を資料にするときに、データな

よ天文学者への道が開ける。国立天文台では助手として働き研究を進めることになるだろう。その研究で成果を出して学者まで上り詰める。そこからさらに研究を続けていつか新しい星を発見するのが私の夢だ。

しかし調べていくうちに、学位以外にも天文学者に必要な能力やものがあることに気づいた。私が特に必要だと思うものは、次の三つだ。

一つは好奇心。天文学者の仕事を続けるためには、複雑で未解明な宇宙に興味を持ち続けることが重要だ。これは地道な観測をもとに、難しい研究を続けていかなければいけないからだ。私は好奇心が強い。天文検定の本を買って勉強をすればするほど知りたいことが増えていく。そんな私に天文学者がぴったりだ。

二つ目は、数値分析能力と文章力だ。研究結果を資料にするときに、データな

どをまとめるために必要な力だ。また、外国語で論文を書くために必要な力でもある。私は数字には強いが、文章力に自信がない。国語の授業でも文章を書くのが苦手で、手が止まってしまふ。外国語は塾でも学習していて得意なので、まずは日本語の文章をすらすら書けるようにしたい。

三つ目は、たくさんのお金が必要だ。学位をとるまでには、今通っている塾も含めてたくさんのお金が必要だ。家族に恩返しができるように、一生懸命勉強を続けたい。

太田 璃莉花 のライフプラン

将来なにになりたいか? **天文学者**

その理由: **星が好きだから。だれも見つけない新しい星を発見したいから。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	12(小6)	塾でも学校でも勉強をがんばる。小学校卒業	塾の授業料
2022年	13(中1)	中学校入学	〃
2023年	14(中2)	数学・理科・英語の勉強をがんばる。	〃
2024年	15(中3)	安積高校に入るための受験勉強をする。卒業	〃
2025年	16(高1)	安積高校入学	塾の授業料 学校の授業料
2026年	17(高2)	塾でも学校でも勉強をしっかりとがんばる。	〃
2027年	18(高3)	東京大学に入るための受験勉強をする。	〃
2028年	19(大1)	東京大学入学 理学部 天文科に入る。(一人立ち)	学費、生活費
2029年	20(大2)	天文学についてしっかりと学ぶ。	〃
2030年	21(大3)	天文学の講義に参加する。 研究室で活動する。	〃
2031年	22(大4)	大学院受験	〃
2032年	23(院1)	大学院入学	〃
2033年	24(院2)	物理学などを学ぶ	〃
2034年	25(院3)		〃
2035年	26(院4)		〃
2036年	27(院5)	博士号取得 大学院卒業	〃
2049年	40	新しい星を発見する。	研究費、生活費

研究員
↓
助手
↓
学者

卒業後、国立天文台で働く。

※最後の行は、何職の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!